

3. 競技種目等

【個人戦：一般】

種 目		競 技
耐荷	無差別級	作品の真ん中に錘（おもり）を下げ、どれだけの重さに耐えられるのかを競い合う。
	10cm以下級	無差別級の条件に加え、競技台の上面から下部分が10cm以下という制限の中で製作し、作品の真ん中に錘（おもり）を下げ、どれだけの重さに耐えられるのかを競い合う。
軽量		1kgの錘（おもり）に耐える橋を、いかに軽く作るかを競い合う。
デザイン	製作テーマ 「元気が出る橋」	独創性・機能性・企画力など、 <u>与えられたテーマに沿ったデザイン</u> を競い合う。

【個人戦：中学生以下（製作者が中学生以下の方）】

種 目		競 技
耐荷		作品の真ん中に錘（おもり）を下げ、どれだけの重さに耐えられるのかを競い合う。
軽量		1kgの錘（おもり）に耐える橋を、いかに軽く作るかを競い合う。
デザイン	製作テーマ 「元気が出る橋」	独創性・機能性・企画力など、 <u>与えられたテーマに沿ったデザイン</u> を競い合う。

【団体戦（学校対抗）】

種 目		競 技
耐荷 【無差別級】 《学校対抗》		同一の大学（大学院）・高専・専門学校・高校で1チーム5名を上限として3橋製作し、耐荷（無差別級）と同様の条件で、トーナメント戦形式にて競技する。

※作品は、決勝コンテストの際に会場へ持参していただきます。